

DaKinBi News

NARA AMT

No. 304

SEP. 2019

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕勝山 政彦 〔編集責任者〕岸森 千幸

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

日臨技 有功賞・特別賞を受賞して

天理医療大学 山本慶和

この度、日本臨床衛生検査技師会・有功賞・特別賞を受賞することとなりましたのでご報告させていただきます。

日臨技の表彰規定には・永年職務精励賞・日臨技有功賞（会長賞、功労賞、特別賞）および・日臨技学術奨励賞の3つがありまして、その中で有功賞・特別賞を永峰康孝先生とともに受賞させていただきました。会長賞では日臨技の発展に指導的役割を果たすとともに、臨床検査技術に関係がある学術・技術の発展に貢献とあります。特別賞は表彰委員会の推薦によるもので、表彰盾には「あなたは永年臨床検査の精度管理並びに標準化に向けてご尽力され、本会の精度保証事業に多大な貢献をされました」とありました。

ここで少し多めに紙面をお借りして日臨技の標準化と私見による受賞との関係について述べさせていただきます。

標準化の概要： 振り返ってみますと、臨床検査の標準化（GOT 測定の勧告法の確立がスタート）は1972年ごろから日本臨床化学会を中心に始まり、これまでに20数項目の常用基準法（私はLD測定法の確立に関わる）、認証標準物質、トレーサビリティ体系、許容誤差限界、バリデーション指針、共用基準範囲など（これらが標準化ベース事業）が公表されてきました（私はバリデーション、共用基準範囲に関わる）。

JCCLSの標準化基本検討委員会柱： 話は少し戻りますが、2004年に日本臨床検査標準協議会 JCCLS に標準化基本検討委員会が設置され、“いわゆる”柱1標準物質、柱2測定値の標準化、柱3データベースの構築、の標準化が進められることになりました。日臨技はこの柱2に対して“臨床検査データ共有化部会”を立ち上げ全面的に支援する体制を整えたのです。この部会は2007年に“臨床検査データ標準化WG”に名称を変更し、ここから日臨技の主導で臨床検査データ標準化を実現する活動が本格化しました（このWGの委員として参加）。



日臨技臨床検査データ標準化 WG： その内容は、1. パッチワーク方式をベースとする、都道府県に基幹施設を設け正解さと長期の精度を確保するためのサーベイ事業（奈良県ではいい形に継続されています）の実施、2. このサーベイの正確さを担保するためにヒト新鮮血清試料の確立と委託化（日臨技の外部精度管理試料；化学に採用）、3. 施設間差是正、精度管理法、精度保証のマニュアルのベースとなる”臨床検査精度保証教本“の刊行、4. 標準化データによる広く共有できる基準範囲の設定（共用基準範囲に発展）、5. 外部精度管理調査および検査値標準化で信頼性が確保された臨床検査室を日臨技として精度保証の認証を行う精度保証認証制度（以後：施設認証）の構築、の5事業でした。私はいずれの事業にも関わっていましたが、特に4.の基準範囲設定とその普及、5の施設認証の構築と普及にそれぞれ、責任者とサブ責任者として活動してきました。施設認証の責任者が永峰先生で今回一緒に受賞することができ、受賞理由が明確でお互いに労いと喜びを分かち合うことができました。

共用基準範囲： 広く共有できる基準範囲の設定は、日臨技理事会での実施計画案の承認を経て、都道府県に試料の採取、測定（基幹施設での測定、これは施設に多大なご負担を頂く事業でありました）と多施設共同による基準範囲の設定であり、精確さが担保された多数の基幹施設による測定、基準個体を北海道から鹿児島県（共用基準範囲では北海道から沖縄県）の方を対象とし文字通り日本国内で広く共有可能な基準範囲を目指しました（奈良県では200数十人のご協力を得ております）。この基準範囲の公表を契機に、JCCLSに関連する学会・団体の委員で構成する基準範囲検討委員会が設立され、共用基準範囲の公表に至ったわけです（2014年）。この基準範囲は精確さが確保され、地域差がないことを証明した、20～60歳代の全国で共有できる基準範囲です（私的なお願いですが、共用基準範囲を未使用の施設におかれまして是非早急に変更されますように）。

施設認証： 施設認証は、検査室の精確さと標準化の運用がされている施設を認証し、検査室の品質を可視化することを一つの柱に据えて活動を展開してきました。現在全国で831施設（奈良県14施設）が認証を取得しています。共用基準範囲および施設認証の普及活動を展開する中で、検査室の足場の不安定さというものを強く感じました。それは基準範囲の変更に対する慎重さ（臨床側に説明する自信）、施設認証を道具に検査室の精確さのアピール（品質の可視化；患者さん、臨床医、施設長）・説明の機会にできない、といったものでした。

もうひとつの柱が医療機関は検査の精度に対して法律上の規制がないので、この施設認証はそれを担保するものになりうるとみなし、保険点数化の実現を目指して進めてきました。しかし、思わぬ速さで2018年12月に法改正（検査の精度の確保）が施行されました。現在の施設認証は対象が限られていますので、法改正の内容を担保するには病院、診療所、業務委託を担う衛生検査所まで運用可能な施設認証制度に再構築する必要があると日臨技では方針を定めています。おそらく早晩リニューアルされた施設認証制度（現取得施設がスムーズに移行）が構築され、この制度を取得した施設は法改正に準じていることを保証するシステムとなることを望むものです。

これが今回賞を頂いた時の私のおもい浮かんだものでありまして、ながながとした文章にお付き合いいただき感謝申し上げます。このような賞をいただくと過去形の人になってしまいそうですが、もう少し臨床検査に関わりもっていたいと考えております。今回はこのような機会を設けていただいた理事会および広報部の方々に感謝申し上げます。

令和1年8月

＜ 生涯教育研修会のお知らせ ＞

実践！症例で見る不整脈〔専門-20〕

講師：坂井 優 会員（天理よろづ相談所病院）

日時：2019年9月13日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟 5 階 中会議室

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】前回に引き続き、今回も不整脈の内容です。前2回を踏まえ、症例の心電図解説がメインの勉強会です。日頃から心電図検査をされている方だけでなく、心電図が苦手な方まで、どなたでもご参加ください！お待ちしております。

【問い合わせ先】白土 美佳（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）

e-mail mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

全自動遺伝子解析装置が提案する臨床症状別アプローチ〔専門-20〕

講師：吉川 裕之 氏（バイオメリュージャパン株式会社営業学部）

日時：2019年9月20日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 南病棟2階 画像カンファレンス室2

担当：微生物検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】微生物検査における遺伝子検査は、耐性菌の検出以外にも幅広い用途に応用されています。自動化が進み操作法が簡便になっている今、基礎的な知識を習得する機会が中々得られないのが現状です。そこで今回はバイオメリュージャパン株式会社の学術担当の方にご講演いただきます。お誘いあわせの上、多数ご参加下さい

【問い合わせ先】阿部 教行（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（8665）

e-mail abepenem@tenriyorozu.jp

会員・施設状況 （2019 年 8 月 1 日現在）

[正会員数]	639 名		
[新入会]	2 名	[再入会]	1 名
[変 更]	0 名	[退 会]	0 名

超音波定期勉強会 4「下肢血管エコーの検査報告書の書き方」〔専門-20〕

講師：佐藤 洋 氏（関西電力病院 臨床検査部技師長）

日時：2019年9月20日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟5階 中会議室

担当：画像検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】近年、超音波画像診断の進歩により正確な下肢血管の評価ができるようになり需要も増えています。臨床医が求める検査結果をどのように報告するか悩まれた経験はないですか？ 今回は、臨床医がもらってうれしい下肢血管エコーの報告書の書き方についてお話していただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】植東 ゆみ（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（7447）

e-mail uehigashi_2017@yahoo.co.jp

超音波定期勉強会 5

「2Dによる僧帽弁逸脱症の逸脱部位診断と重症度評価法」〔専門-20〕

講師：小谷 敦志 会員（近大奈良病院）

日時：2019年9月27日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟5階 中会議室

担当：画像検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】僧帽弁逸脱症の症例に遭遇した際に、逸脱部位がどの部分なのか？逆流の重症度はどの程度なのか？この2つで悩むことが多いのではないのでしょうか。今回は、経胸壁心エコー図検査の2Dエコーで病変部位を診断するための僧帽弁の描出と診断のポイントと、逆流の重症度評価法のポイントについてご講演いただきます。教科書には載っていない一歩進んだ心エコー図検査の技術を習得できる機会です。是非とも多くの方のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】植東 ゆみ（天理よろづ相談所病院） Tel 0743-63-5611（7447）

e-mail uehigashi_2017@yahoo.co.jp

2019 年度奈臨技サーベイ検討会（病理・細胞診分野）〔専門-20〕

講師：龍見 重信 会員（県立医科大学附属病院）

浦 雅彦 会員（近大奈良病院）

日時：2019年10月3日（木）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 南病棟 南別館4階会議室

担当：細胞検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】2019年度奈臨技サーベイ検討会（病理・細胞診分野）を行います。会員の皆様、
ならびにサーベイ参加施設者の皆様は奮ってご参加ください。

何かありましたら、龍見までご連絡ください。

【問い合わせ先】龍見 重信（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4303）

e-mail statsu@naramed-u.ac.jp

虚血性心疾患と心電図〔専門-20〕

講師：米田 さおり 会員（県立医科大学附属病院）

日時：2019年10月11日（金）18時30分～20時00分

会場：県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局（スキルスラボ棟 4階）

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000 円）

【要旨】今回は虚血性心疾患と心電図の関係についてお話させて頂こうと思っています。心筋梗塞と狭心症って、どう違うの？どうしてSTが上昇するの？低下するの？といったことを中心に皆さんと勉強していけたらと考えています。これからの業務に役立つお話になれば幸いです。皆さまのご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】白土 美佳（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）

e-mail mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

2019 年度 初級・職能開発講習会開催案内 「基礎・20 点」

国の方針として、国民の安心安全な医療を確保するための施策が検討実施されております。その方針のもと、日臨技では多様なニーズに対応できる人材育成への取り組みとして、医療情勢の変化や今後の臨床検査のあり方を学ぶことで、医療人・職能人としてのスキルアップを図るための講習会を下記の通り開催致します。

つきましては、趣旨をご理解いただき、皆様奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催 日： 令和元年 9 月 29 日 (日) 9:40～16:00

場 所： 奈良商工会議所 4F 中ホール

〒630-8586 奈良市登大路町 36 番地 2 TELL 0742-26-6222

募集 人 員： 日臨技に所属する卒後 3 年～10 年の正会員 50 名

内 容： 日臨技講演及びグループディスカッション

<プログラム>

9:10 受付開始

9:40 オリエンテーション 奈臨技会長挨拶

9:50 会長講話「医療情勢と今後の方向性について」(60 分)

講師：日臨技より派遣

11:00 基調講話「他職種連携医療で活躍する臨床検査技師のあり方」(90 分)

講師：日臨技より派遣

12:30 昼休憩

13:30 グループワーク「仮題：多様なニーズに対する臨床検査技師のあり方」(150 分)

*グループワーク 60 分 *発表 30 分*ディスカッション 40 分

: 6 名から 8 名 1 グループにおいて与えられた本題からテーマを決めてグループ単位で意見交換を行い討議されたことをまとめ発表する

15:50 閉会

受講 料： 1000 円 (当日受付にてお支払下さい)

申込み 先：(一社) 奈良県臨床検査技師会 組織法規部講習会担当係

E-mail kennaraseika@yahoo.co.jp

申込 方 法： 上記 mail アドレス宛に、件名「初級・職能開発講習会」及び次の事項①～⑤を記載して送信して下さい。確認後、返信メールを送信させていただきます。

① 会員番号 ② 施設名、所属、氏名 ③ 卒後年数 ④ 連絡先電話番号

⑤ E-mail アドレス (携帯可) お手数をおかけしますが宜しくお願いします。

締 切 り： 令和元年 9 月 23 日 (月)

問 合 せ 先：(一社) 奈良県臨床検査技師会 組織法規部

奈良県総合医療センター臨床検査部 柳田裕起

TELL 0742-46-6001 内線 2234 FAX 0742-46-6011

第7回 奈良県臨床検査協議会講演会 開催案内

日時：2019年10月16日(水)18時～20時
会場：かしはら万葉ホール レセプションホール
テーマ：「奈良県における救急医療の現状」

プログラム

一般演題 18時～19時

1. 救急医療に対する臨床検査技師の現状
奈良県立医科大学付属病院 中央臨床検査部 森嶋 良一 先生
2. 奈良県の救急医療体制について
奈良県福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 主幹 堀内 忠彦 先生
3. 小児2次救急輪番体制の現状と問題点
国保中央病院 院長 阪井 利幸 先生

特別講演 19時～20時

『奈良県における救急医療の現状』
奈良県総合医療センター 救命救急センター 診療部長 關 匡彦 先生

主催 奈良県臨床検査協議会

後援 奈良県医師会、奈良県病院協会、奈良県臨床検査専門医会、
日本衛生検査所協会 近畿支部、奈良県臨床検査技師会、奈良県

ホームページ：<http://plaza.umin.ac.jp/naraclikensa/index.htm>

日臨技生涯教育研修：専門-20点

日医生涯教育講座単位：2単位

問い合わせ先：地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合医療センター 臨床検査部 中田 恵美子

E-Mail：emiko.n201@gmail.com Tel：0742-46-6001 内線 5637

奈臨技行事予定

9 月		行事（略）	担当	9 月		行事（略）	担当
1	日			16	月		
2	月			17	火		
3	火			18	水		
4	水			19	木		
5	木			20	金	超音波定期勉強会 4	画像検査
6	金					全自動遺伝子解析装置	微生物
7	土	Basic cytology 第 10 回	細胞診	21	土		
		血液・輸血分野合同研修会	貧血症例	22	日		
8	日	がん撲滅のための検査展	樫原アルル	23	月		
9	月			24	火		
10	火			25	水		
11	水			26	木		
12	木	第 5 回通常理事会		27	金	超音波定期勉強会 5	画像検査
13	金	実践！症例で見る不整脈	機能検査	28	土	Basic cytology 第 11 回	細胞診
14	土			29	日	初級・職能開発講習会	組織法規
15	日			30	月		

* 行事参加される方は、奈臨技ホームページにて日程・会場等の変更の有無をご確認下さい*

* <http://naraamt.or.jp/> *

編集後記

暑い日が続いていますが、皆さんお身体は大丈夫でしょうか？あまり暑いと何もする気が起きませんが、お互いに頑張りましょう。9月の奈良は色々な行事がありネット等で調べて気分転換に出かけてみるのもいいかもしれませんね。

広報委員 M